



↑ ↑ ↑
こちらのコードから色鮮やかなカラー版をご覧ください。



水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 住所 富士見市水谷1-13-6
TEL 049(251)1129・FAX049(255)9886・✉ fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

祝 水谷小学校開校150周年

水谷小学校は、明治5年(1872年)の学制が公布された翌年に誕生し、150年の佳節を迎えました。それに伴い、学校では様々な記念行事が行われ、マスクोटキャラクターまでが誕生しました。水谷小学校の沿革や記念行事等を紹介するとともに、大島仁校長から今回の佳節とこれからの水谷小学校への思いを語っていただきました。

編集委員 細谷 充男

150周年記念事業

本事業は令和4年、大島校長が新旧PTA会長に相談したところ、快諾を得て、過去の式典事業を参考に実行委員会を組織しました。そして、令和4年6月28日に第一回実行委員会を開催し、式典部、記念事業部、記念誌作成部で始まり、その後、数回の実行委員会を重ね、記念式典を令和5年11月22日に開催しました。

開校150周年記念事業を行うにあたり、単なる年数的イベントだけでなく、新型コロナ禍後の新たな第一歩、児童数の増加に伴う校舎増築の様変わりなど踏まえた節目の事業です。

航空写真とバルーン

記念事業部からの提案で、小学校増築工事前の5月1日に、校庭に全児童と教職員が集まり、ドローンで写真撮影を行い



バルーン打ち上げの様子

その後、参加者全員で大声を上げて、空高く飛ばしました。



航空写真

ました。虹で囲まれた校章と150の数字を、全児童と先生たちで描きました。

それらのバルーンの中には、驚いたことに埼玉県の小川町や茨城県水戸市鯉淵町(こいぶちちよ)まで届いたとの連絡

記念式典

がありました。特に鯉淵町の方からは、ヒマワリの種と折り紙本が届けられ、児童たちは、その本にある型を折った折り紙を箱に入れて送り、感謝を伝えました。

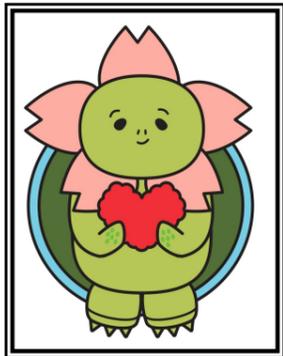
体育館で11月22日午前9時から開催されました。会場では、来賓と関係者に加え、6年生が代表して参加しました。また、全校児童が参加できるよう、他の学年は各教室でモニターやタブレットを介して参加しました。また、式典の最後に花火が上がりました。水谷小学校の新たな門出を祝いました。



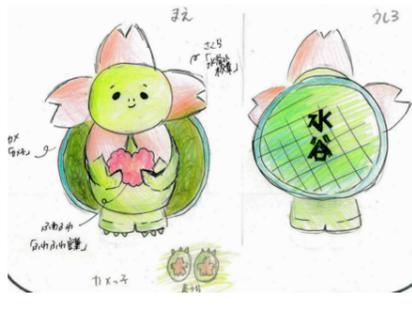
記念式典の様子

「かめるん」誕生

大島校長の、「児童たちに開校150周年を形に残したい」との思いから、マスクोटキャラクターを作ることになりました。そこで実行委員会では、全児童からマスクोटの原画を募集したところ、241名の児童からかわいらしい原画が寄せられました。これらの中から6点に絞り、全児童たちの投票で原画が決まりました。また、決定した原画を元にマスクोटの名前も募集し、多くの名前が寄せられ、これも児童の投票で「かめるん」と決定しました。



「かめるん」

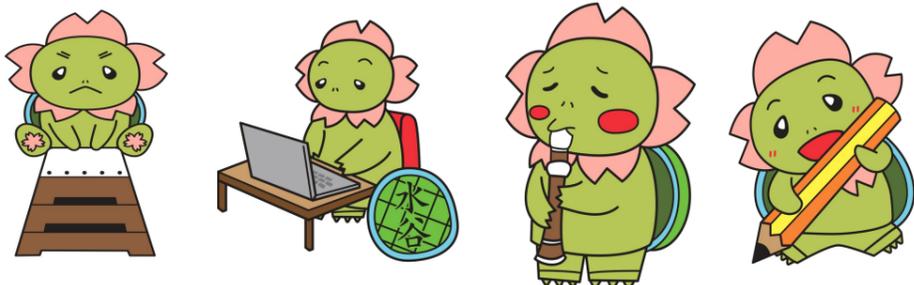


「かめるん」の原画

ところで、「かめるん」のモデルになったのは、「かめ子」という名のクサガメで、小学校で19年前頃から飼育・栽培委員が世話をしています。児童からは非常に可愛がられた身近な存在のカメです。



かめるんのモデル「かめ子」



「かめるん」については、様々なポーズのイラストを作成しています。今後、かめるんスタンプを教員に配布し、子どもたちの学習成果物(ノートやプリント)に押されるそうです。

開校150周年を迎えて

水谷小学校 校長 大島 仁

水谷小学校があるこの地には、約3万6千年前の石斧が発見されており、古(いにしえ)から人々が暮らしていた場所です。その地に明治6年の小学校令により鶴馬村の来迎寺を校舎に充用することで本校の歴史が始まり、本年度で150年を迎えました。その間、卒業生の数は、明治23年からの記録をたどると昨年度で7407名にのぼります。

150年の間、社会が大きく発展する中で、多くの卒業生が社会を支えてきたことでしょう。

現在、水谷小学校では児童が社会で活躍する未来を見つめ、社会が劇的に変化する中で、自由に生きていく力を育むことを教育理念とし、新たな教育活動を展開しています。

家庭や地域のご理解やご協力が厚く、児童が健全に成長しているこの水谷小学校が、増々発展しますよう続きますようご祈念申し上げます。



大島校長